

## ◆ 今週のコメント

- 腸管出血性大腸菌感染症の報告が1例(20歳代女性)あり、症状は腹痛・水様性下痢で、感染地域は国内、感染経路は経口感染です。本年の累積報告数は14例となっています。  
3週続けての報告となっています。手洗いや調理器具の消毒(つけない)、食材の冷蔵保管(ふやさない)、食品の十分な加熱(やっつける)等、食中毒予防の3原則を徹底してください。

発生状況の週別推移や血清型別患者数などの詳しい情報については、下記URLを御参照ください。

○腸管出血性大腸菌感染症発生状況(衛生環境研究所ホームページ)  
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000068305.html>

- アメーバ赤痢の報告が1例(60歳代男性)(第34週追加報告分)あり、感染地域は国内、感染経路は性的接触です。本年の累積報告数は14例となりました。
- 水痘(入院例)の報告が1例(10歳未満女性)(第34週追加報告分)あり、症状は発疹・小脳失調で、感染地域は国内、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染です。本年初めての報告例となっています。
- 梅毒の報告が2例(30歳代男性1例, 30歳代女性1例)(第34週追加報告分含む)あり、本年の累積報告数は48例となりました。2例ともに感染地域は国内、感染経路は異性間性的接触です。  
重症化及び感染拡大を防ぐためには、早期発見、早期治療が非常に重要です。  
京都市では、平日昼間、土日及び夜間にHIV・性感染症(梅毒・淋菌・クラミジア)検査を実施しています。詳細については、下記のホームページを御覧ください。  
○京都市情報館「京都市のHIV検査について(平成29年度から検査体制を変更しました。)」  
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000047908.html>

## ◆ 今週のトピックス: <RSウイルス感染症>

- 京都市のRSウイルス感染症の定点当たり報告数は1.98(83例)となり、前週1.00(42例)から増加しました。全国の定点当たり報告数は3.23となり、10週連続で増加しています。詳細をトピックスに掲載しています。

## ◆ 発生状況

### 全数把握の感染症

- 二類: 結核 7例(肺結核 3例, その他結核 2例, 潜在性結核感染者 2例) 喀痰塗抹陽性 1例  
【1月以降の累積報告数 229例(肺結核 119例, その他結核 36例, 潜在性結核感染者 74例)うち喀痰塗抹陽性 58例】
- 三類: 腸管出血性大腸菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 14例】
- 五類: アメーバ赤痢 1例(腸管アメーバ症)【1月以降の累積報告数 14例】
- 五類: 水痘(入院例) 1例【1月以降の累積報告数 1例】
- 五類: 梅毒 2例【1月以降の累積報告数 48例】

### 定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点42, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0. 12	8
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	3. 10	130
	② RSウイルス感染症	1. 98	83
	③ 手足口病	1. 50	63
	④ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0. 86	36
	⑤ ヘルパンギーナ	0. 69	29
眼科	流行性角結膜炎	0. 90	9

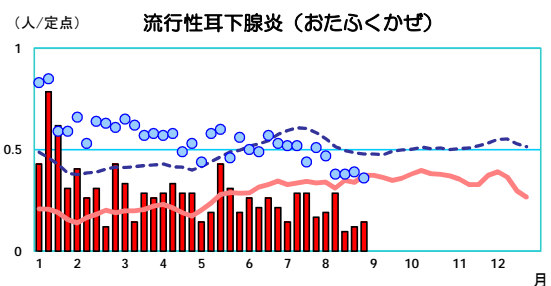
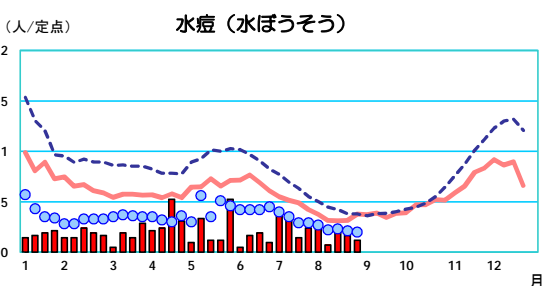
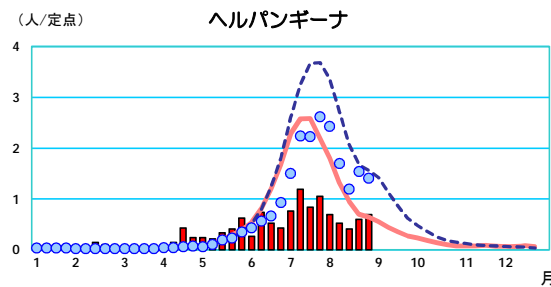
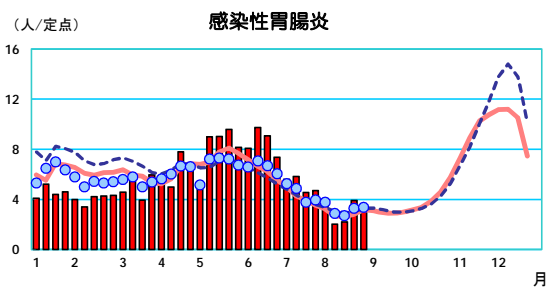
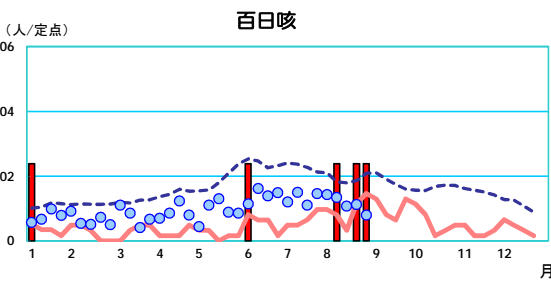
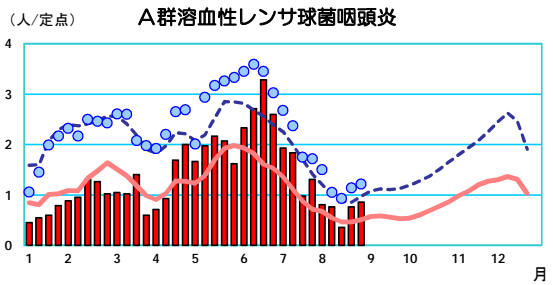
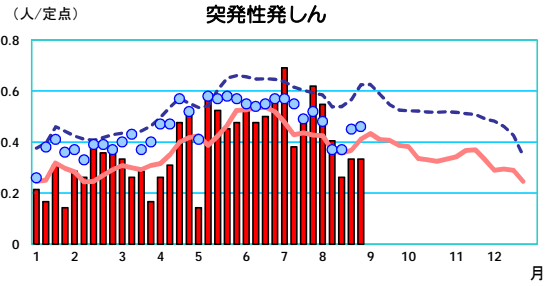
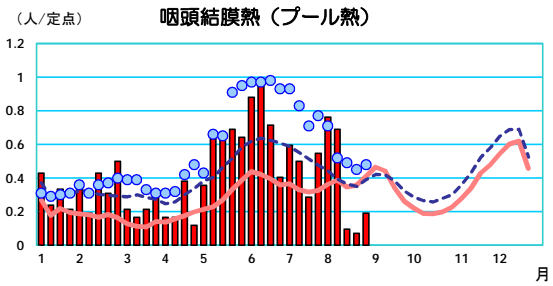
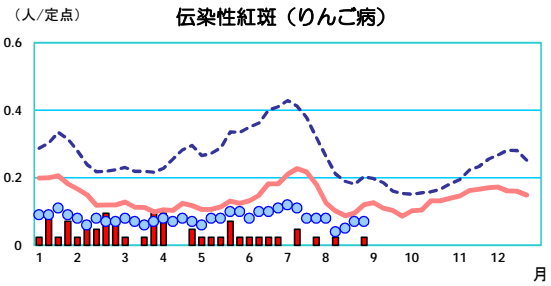
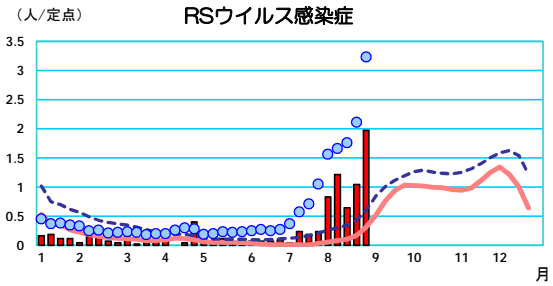
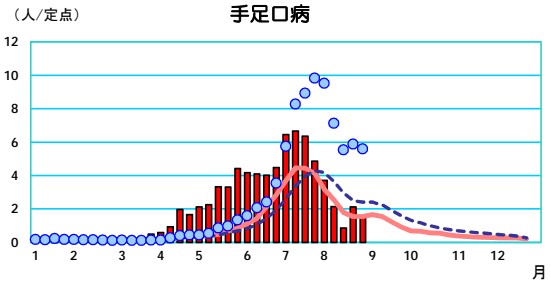
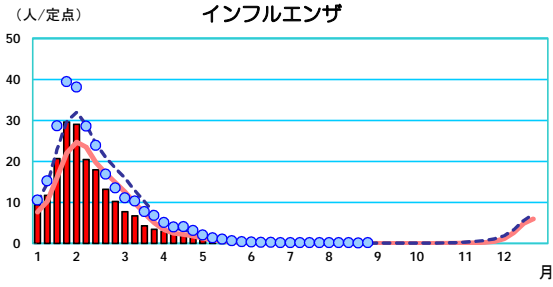
## 【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <RSウイルス感染症>

付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは、平成29年9月6日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。  
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

# インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成29年）



## 第35週(8月28日～9月3日)トピックス: <RSウイルス感染症>

京都市のRSウイルス感染症の定点当たり報告数は1.98(83例)となり、前週1.00(42例)から増加しました。全国の定点当たり報告数は3.23となり、10週連続で増加しています(図1)。

過去5年の動向を、一年間で定点当たり報告数の最も多かった週(ピーク週)で見ると、京都市では第40,41,50週、全国では第40,49,50週となっており(表1, 図2), 例年10月初旬または12月初旬に報告数が最大となっています。

本年の動向は、京都市及び全国で、例年のピーク週よりも1箇月～3箇月以上早い第35週(8月下旬)で、例年のピーク週の定点当たり報告数を既に上回っています。流行期を控えていることや例年より早い時期から感染者が増えている現状などから、今後の動向に十分な警戒が必要です。

RSウイルス感染症は、年齢を問わず再感染を起こしやすく生涯にわたって感染を繰り返します。多くの場合軽い症状で済みますが、乳幼児期において、特に早産児や心臓・肺に疾患のある乳幼児、生後数週間～数ヶ月の乳幼児は、細気管支炎や肺炎といった重篤な症状を引き起こすことがあります。RSウイルス感染症にはワクチンや特効薬がなく、予防が重要です。

感染経路は飛沫感染と接触感染です。咳などの症状のある大人はマスクを着用し、飛沫による感染を防ぎましょう。また、子どもたちが日常的に触れるおもちゃや手すりなどをこまめに消毒するほか、流水及び石けんによる手洗いで接触による感染を予防しましょう。

図1 京都市及び全国の定点当たり報告数の推移

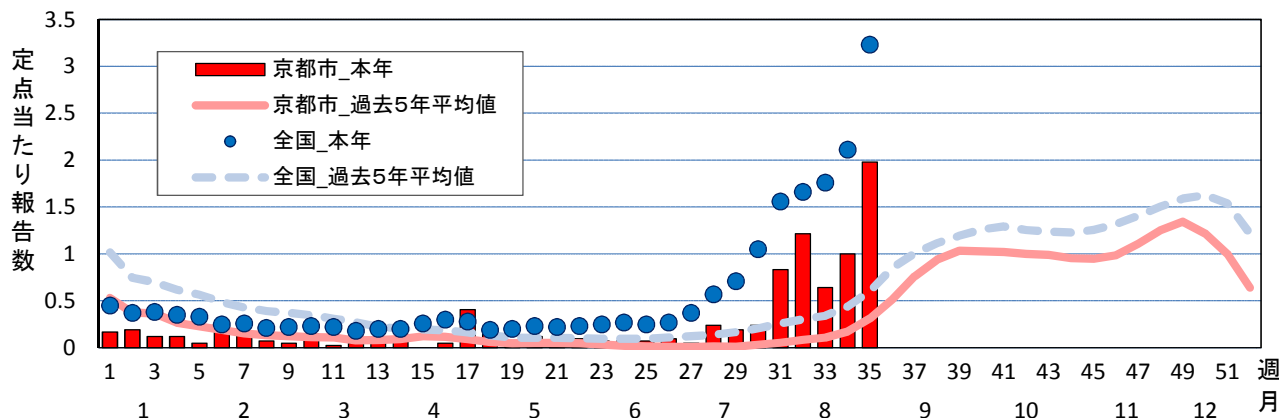
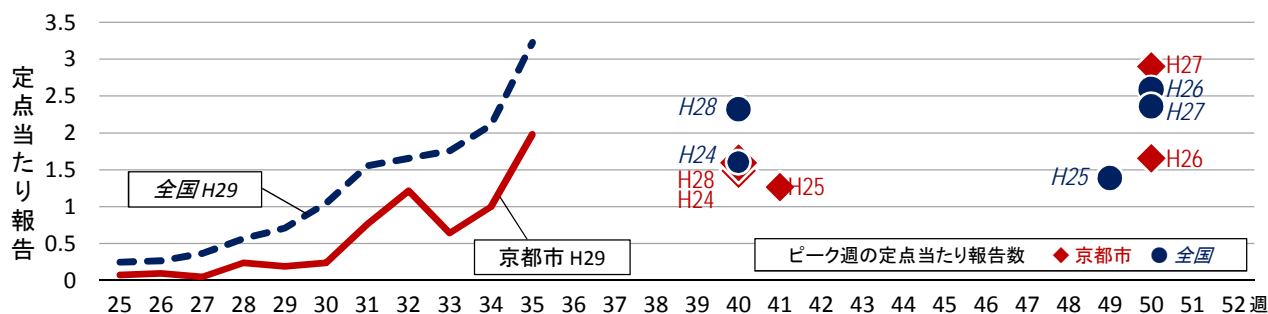


表1 京都市及び全国の過去のピーク週と定点当たり報告数

	京都市		全国	
	ピーク週	定点当たり報告数	ピーク週	定点当たり報告数
平成24年	40週	1.49	40週	1.60
平成25年	41週	1.27	49週	1.39
平成26年	50週	1.66	50週	2.59
平成27年	50週	2.90	50週	2.36
平成28年	40週	1.60	40週	2.32

図2 京都市及び全国のピーク週と定点当たり報告数



T3201

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第35週

疾病,行政区別報告数

平成29年8月28日～平成29年9月3日

データ入手日:平成29年9月6日

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計	-	6	2	1	1	-	2	-	-	-	1	-	-	5						
北	-	6	2	1	1	-	2	-	-	-	1	-	-	5						
上京	-	2	1	4	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-						
左京	2	10	-	3	22	-	4	-	-	-	3	-	-	-						
中京	-	5	-	-	4	1	3	-	-	-	3	1	-	3	-	-	-	-	-	-
東山	-	5	-	-	15	-	1	-	-	-	1	-	-							
山科	4	19	-	4	5	-	1	1	4	-	5	1	-	-						
下京	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-							
南	2	-	1	3	17	-	8	-	2	1	5	-	-							
右京	-	12	3	12	16	3	22	-	3	-	-	3	-	1						
伏見	-	20	1	1	31	1	15	-	3	-	9	-	-	-						
西京	-	4	-	8	15	-	6	-	2	-	1	1	-	-						
京都市計	8	83	8	36	130	5	63	1	14	1	29	6	-	9	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計	-	1.50	0.50	0.25	0.25	-	0.50	-	-	-	0.25	-	-	5.00						
北	-	1.50	0.50	0.25	0.25	-	0.50	-	-	-	0.25	-	-	5.00						
上京	-	0.67	0.33	1.33	0.67	-	-	-	-	-	0.33	-	-	-						
左京	0.29	2.50	-	0.75	5.50	-	1.00	-	-	-	0.75	-	-	-						
中京	-	1.67	-	-	1.33	0.33	1.00	-	-	-	1.00	0.33	-	1.50	-	-	-	-	-	-
東山	-	2.50	-	-	7.50	-	0.50	-	-	-	0.50	-	-							
山科	0.57	4.75	-	1.00	1.25	-	0.25	0.25	1.00	-	1.25	0.25	-	-						
下京	-	-	-	-	1.00	-	0.50	-	-	-	-	-	-							
南	0.40	-	0.33	1.00	5.67	-	2.67	-	0.67	0.33	1.67	-	-							
右京	-	2.40	0.60	2.40	3.20	0.60	4.40	-	0.60	-	-	0.60	-	1.00						
伏見	-	2.86	0.14	0.14	4.43	0.14	2.14	-	0.43	-	1.29	-	-	-						
西京	-	0.80	-	1.60	3.00	-	1.20	-	0.40	-	0.20	0.20	-	-						
京都市計	0.12	1.98	0.19	0.86	3.10	0.12	1.50	0.02	0.33	0.02	0.69	0.14	-	0.90	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

### 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第35週

年齢階級, 疾病別報告数

平成29年8月28日～平成29年9月3日

データ入手日:平成29年9月6日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
男女合計	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	8	-	-	-	-	2	1	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	3
RSウイルス感染症	年齢3	83	7	18	38	13	4	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		8	-	-	1	1	1	2	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		36	-	1	3	-	6	5	2	7	5	3	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		130	1	15	21	21	13	7	6	4	5	5	2	10	5	15	-	-	-	-	-	-
水痘		5	-	1	1	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		63	-	7	33	13	4	3	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		14	-	3	9	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		29	1	6	4	6	2	4	3	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		6	-	-	-	-	1	1	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		年齢2	9	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	4	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
男女合計	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	0.12	-	-	-	-	0.03	0.01	-	0.01	-	-	-	-	-	0.01	-	-	-	-	-	0.04
RSウイルス感染症	年齢3	1.98	0.17	0.43	0.90	0.31	0.10	0.02	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.19	-	-	0.02	0.02	0.02	0.05	0.05	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.86	-	0.02	0.07	-	0.14	0.12	0.05	0.17	0.12	0.07	-	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		3.10	0.02	0.36	0.50	0.50	0.31	0.17	0.14	0.10	0.12	0.12	0.05	0.24	0.12	0.36	-	-	-	-	-	-
水痘		0.12	-	0.02	0.02	-	0.02	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		1.50	-	0.17	0.79	0.31	0.10	0.07	-	-	0.02	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.33	-	0.07	0.21	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		0.02	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.69	0.02	0.14	0.10	0.14	0.05	0.10	0.07	-	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.14	-	-	-	-	0.02	0.02	0.07	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		年齢2	0.90	-	-	-	0.10	-	-	0.10	-	-	-	-	-	-	-	0.30	0.40	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌, 肺炎球菌, インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第35週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成29年9月6日

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		5	12	-	5	8	8
RSウイルス感染症		10	35	51	27	44	83
咽頭結膜熱		23	32	29	4	3	8
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		55	34	32	15	32	36
感染性胃腸炎		198	170	85	92	164	130
水痘		10	11	3	9	7	5
手足口病		204	156	90	36	89	63
伝染性紅斑		1	-	1	-	-	1
突発性発しん		26	23	17	11	14	14
百日咳		-	-	1	-	1	1
ヘルパンギーナ		44	29	22	17	25	29
流行性耳下腺炎		7	8	12	4	5	6
急性出血性結膜炎		1	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		8	5	5	2	8	9
細菌性髄膜炎 (※2)		-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-
合計		592	515	348	222	400	393

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		0.07	0.17	-	0.07	0.12	0.12
RSウイルス感染症		0.24	0.83	1.21	0.64	1.05	1.98
咽頭結膜熱		0.55	0.76	0.69	0.10	0.07	0.19
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.31	0.81	0.76	0.36	0.76	0.86
感染性胃腸炎		4.71	4.05	2.02	2.19	3.90	3.10
水痘		0.24	0.26	0.07	0.21	0.17	0.12
手足口病		4.86	3.71	2.14	0.86	2.12	1.50
伝染性紅斑		0.02	-	0.02	-	-	0.02
突発性発しん		0.62	0.55	0.40	0.26	0.33	0.33
百日咳		-	-	0.02	-	0.02	0.02
ヘルパンギーナ		1.05	0.69	0.52	0.40	0.60	0.69
流行性耳下腺炎		0.17	0.19	0.29	0.10	0.12	0.14
急性出血性結膜炎		0.10	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.80	0.50	0.50	0.20	0.80	0.90
細菌性髄膜炎 (※2)		-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-
合計		14.73	12.53	8.67	5.39	10.06	9.97

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。